

富山県滑川市長 上田 昌孝 からメッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会のオンライン開催にあたり、皆さまの平和と核兵器廃絶への活動に深く敬意を表します。

また、広島・長崎への原爆投下により犠牲になられた方々に対し哀悼の意を表します。

本市としましては、日本が、世界で唯一の被爆国として「核兵器のない世界」を実現するため、核兵器廃絶の実現に向けリーダーシップを発揮し、また、関係各国との信頼及び協力関係を深めることが重要であると考えております。

世界の平和と核兵器廃絶に向けての皆さまの活動がますます発展することを心より祈念申し上げます。

(本文 240 字)

原水爆禁止二〇二〇年世界大会（オンライン）の開催に際しご参加の皆様並びに関係各位に心より敬意を表します

私たちは世界で唯一の被爆国として、核兵器の悲惨さを世界に強く訴えるとともに核兵器の廃絶に向け断固たる覚悟で邁進していかねばなりません

今を生きる私たちそして将来の世代のため核兵器のない平和な社会の実現を心から願いメッセージといたします

富山県南砺市長

田中 幹夫

原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）へのメッセージ

我が日本は世界で唯一の核被爆国であり、核兵器の悲惨さや残酷さを最も良く理解している国民であると思っております。平和を望む各国の人々と連携・強調のもと、核兵器のない平和で公正な世界の実現を願う人々の輪が一層大きく広がることを祈念いたします。

舟橋村長 金森 勝雄

原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）へのメッセージ

歴史ある原水爆禁止世界大会が、本年も開催されますことに対し、心より激励を申し上げます。原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様には、例年とは異なり、新型コロナウイルス感染症禍において、オンラインによる大会開催となり、ご苦勞もあったことと存じます。皆様のご苦勞、ご尽力に対し、心より敬意と感謝の意を表するものであります。

さて、我々人類は、これまで二度に渡る世界大戦をはじめ多くの戦争を行い、先の大戦では広島・長崎への原子爆弾の投下といった、繰り返してはならない不幸な出来事を歴史に刻んでまいりました。核兵器の使用は多くの人々の命を奪うことだけでなく、人々に一生涯の苦しみを一方的に押しつけるものであります。

こうした過ちや悲劇を繰り返すことなく、恒久的世界平和を実現するために、私たちは世界中の人々と手を取りあい、平和への想いを訴えるとともに、それを次の世代へと確実に受け継いでいかなければなりません。

今後とも、この世界大会のさらなる気運向上のもと平和運動が活発に展開されますとともに、一日も早い真の世界平和が実現されることを心よりご祈念申し上げ、大会へのメッセージといたします。

令和2年7月27日 黒部市長 大野久芳